

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	技術監理室
担当課	技術企画課
課長名	栗林

事業名	公共事業コスト構造改善				施策番号	
					Ⅲ - 3 - (3) - ④	
事業概要	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、工事単体のコスト縮減だけでなく、事業全体を通じた効率化や、工事後の維持管理を考慮した品質の確保に取り組みます。(工事コストの改善、維持管理の適正化、ライフサイクルコストの改善、社会的コストの改善)					事業手法
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.10 人
	0 千円	0 千円			11,650 千円	係長 0.30 人 職員 1.00 人
						(人件費備考)

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、公共事業について「コスト削減」のみを重視した取り組みから、「コスト」と「品質」の両面を重視する取り組みである「コスト改善」へと転換を図ります。			成果実績	平成24年度の実績については現在集計中です。
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	総合コスト改善率 「コスト」と「品質」の両面を重視するコスト改善の取り組みを行うことにより、計画期間である5年間(平成21年度～平成25年度)で、平成19年度と比較して15%の総合コスト改善を目標とします。 (最終目標と目標年度) 15% (平成25年度)	8.8 %	単年度目標なし	集計中	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック 順調

活動計画	最終平成25年度には、平成19年度と比較して15%の改善率を目指すため、毎年、事例研究に努め、ノウハウを蓄積しながら、改善率を向上させます。	活動実績	専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行いました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	公共事業コスト構造改善のフォローアップ 専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行うことにより、コスト構造改善を目指します。				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	厳しい財政状況の中、継続して全庁的に公共事業のコスト構造改善に取り組むことは有効性が高いと考えます。なお、改善率は平成19年度比、平成22年度4.4%、平成23年度8.8%と効果を上げており、このままいけば平成25年度の目標も達成する見込みで、概ね順調であると考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	創意工夫をもって組織横断的にコスト構造改善に取り組んでおり、経済的かつ効率的な運営を行っている判断しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	技術監理室
担当課	技術企画課
課長名	栗林

事業名	技術系職員の育成				施策番号	
					Ⅲ - 3 - (3) - ④	
事業概要	技術系職員の人材育成を目的とした研修の充実を図り、より高い能力を備えた職員を育成します。				事業手法 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.10 人	(人件費備考)
	0 千円	0 千円		5,400 千円	係長 0.20 人 職員 0.30 人	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を) 行政経営改革を推進する上で、公共事業においては、これまで以上に効率的で質の高い整備が求められています。そのような中、社会資本の整備を担う技術職員については、団塊世代職員の退職、職員数の削減が進んでおり、それに伴う技術伝承の機会の減少などにより、職員の技術力低下が懸念されています。この改善を図るため、効果的な研修を企画・実施し、技術職員の技術力向上を図ります。	成果実績	研修受講者へのアンケートで約8割が「今後の業務に活かせる」との回答がありました。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	研修受講者へのアンケートで「今後の業務に活かせる」と回答した割合	95 %	80 %	79 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	研修の内容は、研修受講者の業務の効率化や技術力向上に結びつくようなものとします。 (最終目標と目標年度)			98.8 %		
	(最終目標と目標年度)					順調

活動計画	技術職員の業務に不可欠な定例研修や新技術研修、公共事業の検査・審査等に携わる職員を各職場に派遣する出前研修とあわせて、地元大学との技術交流及び情報交換の促進を図る官学連携研修等、技術系の職場の要請に応じた研修を実施します。	活動実績	職種や職場の要請に応じた46回の研修を開催し、技術職員の技術力向上を図りました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	技術研修の年間実施回数	30 回	25 回	46 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	職種や職場の要請に応じた多様な研修を開催し、技術職員の技術力向上を図ります。			184.0 %		
	(最終目標と目標年度)					順調

【Check】評価(分析)						
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	平成24年度は、業務上必要となる設計初任者向けの研修など定例的なものに加えて、公共工事のコスト縮減等に繋がる実践的な研修や地元大学との連携研修など、職場の要請に応じた研修を適宜開催し、20回の目標に対して46回の多様な研修を行っています。 また、研修のアンケート結果についても「今後の業務に活かせる」との回答が8割近く占めるため、当事業は、公共事業に携わる技術職員の技術力向上に有効な取り組みであったと判断しています。				
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	当事業では、主に研修内容に関連する市職員を講師として、市発注工事の受注業者などの関係者の協力を得ながら、多様な研修を開催しており、経済的かつ効率的な運営をしていると判断しています。				

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入						
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)				
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)				

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	技術監理室
担当課	技術企画課
課長名	栗林

事業名	公共事業コスト構造改善				施策番号	
					V - 3 - (1) - ①	
事業概要	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、工事単体のコスト縮減だけでなく、事業全体を通じた効率化や、工事後の維持管理を考慮した品質の確保に取り組みます。(工事コストの改善、維持管理の適正化、ライフサイクルコストの改善、社会的コストの改善)					事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
		0 千円	0 千円			課長 0.10 人 係長 0.30 人 職員 1.00 人

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、公共事業について「コスト縮減」のみを重視した取り組みから、「コスト」と「品質」の両面を重視する取り組みである「コスト改善」へと転換を図ります。			成果実績	平成24年度の実績については現在集計中です。
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	総合コスト改善率 「コスト」と「品質」の両面を重視するコスト改善の取り組みを行うことにより、計画期間である5年間(平成21年度～平成25年度)で、平成19年度と比較して15%の総合コスト改善を目標とします。 (最終目標と目標年度) 15% (平成25年度)	8.8 %	単年度目標なし	集計中	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック 順調

活動計画	最終平成25年度には、平成19年度と比較して15%の改善率を目指すため、毎年、事例研究に努め、ノウハウを蓄積しながら、改善率を向上させます。	活動実績	専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行いました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	公共事業コスト構造改善のフォローアップ 専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行うことにより、コスト構造改善を目指します。				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	厳しい財政状況の中、継続して全庁的に公共事業のコスト構造改善に取り組むことは有効性が高いと考えます。なお、改善率は平成19年度比、平成22年度4.4%、平成23年度8.8%と効果を上げており、このままいけば平成25年度の目標も達成する見込みで、概ね順調であると考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	創意工夫をもって組織横断的にコスト構造改善に取り組んでおり、経済的かつ効率的な運営を行っている判断しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	技術監理室
担当課	技術企画課
課長名	栗林

事業名	公共事業コスト構造改善				施策番号	
					V - 3 - (1) - ②	
事業概要	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、工事単体のコスト縮減だけでなく、事業全体を通じた効率化や、工事後の維持管理を考慮した品質の確保に取り組みます。(工事コストの改善、維持管理の適正化、ライフサイクルコストの改善、社会的コストの改善)				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
	0 千円	0 千円		11,650 千円	(人件費備考)	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、公共事業について「コスト縮減」のみを重視した取り組みから、「コスト」と「品質」の両面を重視する取り組みである「コスト改善」へと転換を図ります。			成果実績	平成24年度の実績については現在集計中です。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	総合コスト改善率	8.8 %	単年度目標なし	集計中			
	「コスト」と「品質」の両面を重視するコスト改善の取り組みを行うことにより、計画期間である5年間(平成21年度～平成25年度)で、平成19年度と比較して15%の総合コスト改善を目標とします。 (最終目標と目標年度) 15% (平成25年度)						
(最終目標と目標年度)	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ				代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック 順調		

活動計画	最終平成25年度には、平成19年度と比較して15%の改善率を目指すため、毎年、事例研究に努め、ノウハウを蓄積しながら、改善率を向上させます。	活動実績	専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行いました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	公共事業コスト構造改善のフォローアップ					
	専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行うことにより、コスト構造改善を目指します。					
(最終目標と目標年度)	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	厳しい財政状況の中、継続して全庁的に公共事業のコスト構造改善に取り組むことは有効性が高いと考えます。なお、改善率は平成19年度比、平成22年度4.4%、平成23年度8.8%と効果を上げており、このままいけば平成25年度の目標も達成する見込みで、概ね順調であると考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	創意工夫をもって組織横断的にコスト構造改善に取り組んでおり、経済的かつ効率的な運営を行っている判断しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	技術監理室
担当課	技術企画課
課長名	栗林

事業名	公共事業コスト構造改善			施策番号 VI - 2 - (1) - ②		
	事業概要 「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、工事単体のコスト縮減だけでなく、事業全体を通じた効率化や、工事後の維持管理を考慮した品質の確保に取り組みます。(工事コストの改善、維持管理の適正化、ライフサイクルコストの改善、社会的コストの改善)					
コスト	事業費	24年度執行額 0 千円	25年度当初予算額 0 千円	人件費	目安の金額 11,650 千円	課長 0.10 人 係長 0.30 人 職員 1.00 人
				(事業費備考)		
事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 () (人件費備考)						

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「北九州市公共事業コスト構造改善第四次行動計画」に基づき、公共事業について「コスト削減」のみを重視した取り組みから、「コスト」と「品質」の両面を重視する取り組みである「コスト改善」へと転換を図ります。			成果実績	平成24年度の実績については現在集計中です。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	総合コスト改善率 「コスト」と「品質」の両面を重視するコスト改善の取り組みを行うことにより、計画期間である5年間(平成21年度～平成25年度)で、平成19年度と比較して15%の総合コスト改善を目標とします。 (最終目標と目標年度) 15% (平成25年度)	8.8 %	単年度目標なし	集計中	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック 順調	

活動計画	最終平成25年度には、平成19年度と比較して15%の改善率を目指すため、毎年、事例研究に努め、ノウハウを蓄積しながら、改善率を向上させます。			活動実績	専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行いました。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	公共事業コスト構造改善のフォローアップ 専門部会等で各事業担当部署の取組みをフォローアップし、新技術・新工法の情報共有、取組みの評価及び啓発を行うことにより、コスト構造改善を目指します。				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	厳しい財政状況の中、継続して全庁的に公共事業のコスト構造改善に取り組むことは有効性が高いと考えます。なお、改善率は平成19年度比、平成22年度4.4%、平成23年度8.8%と効果を上げており、このままいけば平成25年度の目標も達成する見込みで、概ね順調であると考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	創意工夫をもって組織横断的にコスト構造改善に取り組んでおり、経済的かつ効率的な運営を行っていると判断しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	技術監理室
担当課	指導課
課長名	善明

事業名	公共工事における環境配慮点検制度の実施				施策番号	
					VI - 2 - (1) - ②	
事業概要	(制度概要) 市が行う開発事業を対象として、計画の早期段階から実施設計段階まで、「自主的な環境保全への配慮の検討を促す」、「事業特性及び地域特性に応じた必要な環境保全目標が達成されているか点検する」、「集積あるいは発信すべき環境配慮の優良事例を抽出する」ことを目的に、契約金額が500万円を超える設計業務委託を発注した事業課に対して、環境配慮チェックリストの提出を義務付けています。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
	0 千円	0 千円		2,250 千円	(人件費備考)	

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	事業課が公共施設の設計を行うにあたり、環境への配慮について実施されているか環境配慮チェックリストの提出を義務付けています。			成果実績	環境配慮チェックリストの提出により、その実施状況を確認しています。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	環境配慮チェックリストの提出の確認	100 %	100 %	100 %			大変順調 順調
	契約金額が500万円を超える設計業務委託の検査時に、環境配慮チェックリストが提出されていることを確認しています。			100.0 %	やや遅れ 遅れ	大変順調	
	(最終目標と目標年度) 毎年度100%						

活動計画	引き続き、契約金額が500万円を超える設計業務委託を対象に環境配慮チェックリストの提出を100%義務付けて、環境に配慮された設計内容になっているか確認を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。				
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	環境配慮チェックリストの提出の指導	100 %	100 %	100 %			大変順調 順調
	契約金額が500万円を超える設計業務委託の検査時に、環境配慮チェックリストを確認し、無ければ作成して提出するように設計担当者に対して指導を行っています。			100.0 %	やや遅れ 遅れ	大変順調	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	契約金額が500万円を超える設計業務委託の中間検査及び完了検査において、環境配慮チェックリストの提出及び内容の確認を行っており、成果としては100%の実施状況です。(平成24年度:95件) (環境配慮事項:生活環境の保全、自然環境の保全、快適環境の保全・創出、地球環境への配慮等の検討)
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	事業課に対し、契約金額が500万円を超える設計業務委託を対象に、環境配慮チェックリストの提出を義務付けて、環境に配慮された設計内容となっているか確認を行うものであり、経済性・効率性の分析を行うものではありません。 環境配慮チェックリストの提出を義務付けることにより、環境保全対策としての有効性は高いと考えています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

